

2018年10月13-14日 北アルプス 餓鬼岳～燕岳縦走

参加メンバー：L久保、SL倉澤、野中

野中君の初テント泊を目的に餓鬼岳～燕岳へ行ってきた。10/14(日)の天気予報がコロコロ変わり判断が難しく、縦走に出るかは現地で判断するようにした。

[1日目]

白沢登山口の駐車場は小さく、15台ほどしかスペースがない。また、テント場も狭いため、駐車場とテント場の確保のため暗い中到着。同じくらいの時間に、2名ほど単独日帰りで入山していた。

ヘッドライトを付け、出発。いきなり足場の悪い橋や岩壁を挟って作った片足しか置けないような道が続く。噂通りのアスレチック天国であり、だいたいの橋や梯子が朽ちている。渡渉する所もあり、降雨後は気を付けた方が良い。途中、野中君が橋を踏み抜きヒヤッとする。さらに、魚止めの滝が見えた矢先、足を滑らした野中君が沢へ全身水没する事件が発生。幸いケガはなかったが、全身濡れてしまった。それでも彼は、何だか嬉しそうに濡れた靴下を履き替えていた。

共同水は最終水場で補給した。食事用10+明日の行動用10=20/人として計算していたが、それぞれに確認してみると食事用20と思っていたようで、結局テント場まで1人辺り30+αほど担いでいた。そんなに歩荷させるつもりはなかったが、沢山水を持ち上げてくれたので水は不自由しなかった。

今回餓鬼岳までは標高差約1600m。天気も良く、汗をかきながらどんどん高度を上げて行く。百曲りを過ぎるとやっと視界が開けた。餓鬼岳小屋は翌日10/14までの営業となり、営業期間中になんとか滑り込めた。なんとも小屋らしい小さな山小屋になり、「よくきたな」と鬼が迎えてくれる。テント場は非常に小さく2~3人用テントがMax.7張りほど可能。本日は我々が1番乗りになり、好きな場所が選べた。その後、テントは計4張りに増えた。

時間に余裕があったため、唐沢岳方面の展望台へ足を延ばしてみた。唐沢岳は、餓鬼岳からかなり遠くアップダウンも激しいため、ついで行く山では無いが、シルエットもカッコよく次回登ってみたいとなった。

餓鬼岳のテント場は稜線上にあるため、携帯の電波が入る。16時発表の気象予報を確認し、降水確率が0mlである事から、翌日縦走することを決めた。



[2日目]

夜はそれなりに冷え込んだが、霜は降りなかった。風が吹いていたせいだろうか。餓鬼岳以降は東沢岳まで梯子と岩場が連続するルートとなるため暗い中長時間行動は避け、予定通り日の出の少し前に出発。雲海が広がる中、楽しい稜線歩きが始まる。ややマイナーなルートであるにも関わらず、全体的に縦走路はしっかり整備されていてキレイ。剣ズリから東沢乗越までは約500m下降し、北燕岳まで約500m登り返した。幸い、稜線を歩いている間は終始見通しが良く、右手には裏銀座がしっかり見えた。北燕岳手前2723mピークに出ると、風が少々強く吹いており、また非常に寒く、降雪も時間の問題だと感じた。北燕岳までは誰にも会いこともなく、後続もいなかったため、非常に静かだった。燕岳に着くとさすがに人がいたが、天気予報が悪かったせいか人は少ない方感じた。

燕山荘からの下山、今シーズン痛めてしまっていた野中君の膝を心配していたが、痛くならず済んだよう。

第二ベンチで南安タクシーに迎えを依頼し、待つ事なくピックアップしてもらえた。中房温泉～白沢登山口まではタクシーで片道 9990 円!! 思ったより少し安く済んだ。

台風 24 号の影響で、中房温泉から引いている温泉のパイプが土砂崩れに遭い、麓の温泉施設は営業停止になっていたという。現在仮設状態のため、復旧工事の影響で、例年より早く中房線は 11/5 以降通行不可となる。



[コースタイム]

■ 1 日目

白沢登山口(5:10 発) - 最終水場(7:15) - 大風山(9:5) - 2200m 付近(10:05、大休止) - 餓鬼岳小屋(11:45 着、幕営後 餓鬼岳山頂へ)

■ 2 日目

餓鬼岳小屋(5:10 発) - 剣ズリ(6:00) - 東沢岳(7:55) - 北燕岳(10:25) - 燕山荘(11:05、大休止) - 合戦小屋(12:15) - 中房温泉(13:45 着)